

岩野開人 岩野久美子 著

# ひとつずつの色 ひとつずつの形 ひとつずつの生き方 リップル洋品店の仕事と暮らし

A5 判並製 128 頁  
本体 1,700 円  
<カラー満載>

注文

(番線印)

(発注者 様)

部数

冊

1か月に7日間だけ開く、山の上の洋品店。  
1着1着、夫婦でつくる、色とりどりの服。

自分たちらしい生き方、暮らし方、働き方を紡いできた日々の物語。

RIPPLE YOHINTEN「リップル洋品店」初の単行本！



ひとつずつの色  
ひとつずつの形  
ひとつずつの生き方

1か月に7日間だけ開く、山の上の洋品店。1着1着、夫婦でつくる、色とりどりの服。自分たちらしい生き方、暮らし方、働き方を紡いできた日々の物語。

リップル洋品店の仕事と暮らし  
岩野開人 岩野久美子



1年になるべく長時間、着てもらいたので、季節もあまり関係なく切っています。セーターなどは、1人1人だけになつてしまっているので、綿の手を使い、夏用のスリッシュメンを売ろうとしています。綿だと色落ちがちなため、綿は糸をいっしょに使うと、洗濯しても色落ちが少なく、中が空っぽの糸をつくり出して使うなど、着心地も工夫しています。

月2500の着たの服を前に取り出しています。アトリエショップ以外では買えないの」と聞かれますが、日本各地のギャラリーなどで期間限定の展示というかたちで販売したりしています。服のデザインは、デザイナーと作り手との間に、関わり合いがあります。年齢、性別、体型を考慮して、いろいろな着せかたを提案しています。実際に、夫婦で、あるいはお母さんとお子さんで着用していただくことも多いです。



目次 第1章 リップル洋品店へようこそ 第2章 私たちのものづくりと暮らし 第3章 リップル洋品店 始まりのお話  
第4章 自分たちらしい生き方、働き方 第5章 ひとつずつの色、ひとつずつの形

岩野開人（はるひと） 岩野久美子 日本中そして世界中から、1着の洋服を求めて人々が桐生市を訪れる。群馬県桐生市、地元で話題の夫婦で RIPPLE YOHINTEN（リップル洋品店）を営む。毎月1日～7日のアトリエショップでは、すべて手づくり、1点ものの色とりどりの衣服が並び、Instagramとツイッターで発信中。

ご注文・お問い合わせは下記までお願いいたします。清流出版 営業部  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 TEL 03(3288)5405 FAX 03(3288)5340

『ひとつずつの色 ひとつずつの形 ひとつずつの生き方  
リップル洋品店の仕事と暮らし』

岩野開人 岩野久美子著 清流出版 本体1,700円  
ISBN 978-4-86029-514-1

